

平成 28 年度 第 14 回政策推進会議報告

日 時 11月1日 9時30分～10時40分

場 所 4 - 1 会議室

出席者 22人

1 平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果の報告について

教育次長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(市長) 入学してきた時点でどの程度の力だった子どもたちが、そこで学ぶことでどれだけの力をつけたかを評価することで、先生方のモチベーションにも繋がるのでは。学校ごとにここまで分析している取組は非常に良い取組であるため、一緒に頑張っていきたい。

2 長期休業日の変更について

教育次長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

・創立記念日に授業を行うのは、そのままか。

その通りである。

(市長) 冬休みが元に戻って一日増えるとなると、合計で四日間の増となる。

平成 25 年度に二日増やしているため、それ以前と比べると六日間の増である。

・日数を増やすことで、学力調査の結果との相関があるのか。空調を付けたこと等で環境が整ったことは後押しの要因と思うが、それ以外の増やすことの意義があるはあるのか。

それは分からない。

(市長) 土曜授業を実施してほしいという声もあるが、保護者への意向調査等を行わないのか。

授業総量を確保するために、土曜授業が良いか、夏期休業の短縮が良いか等。今回はそういった調査は行ったのか。

今回は保護者へのアンケートは行っていないが、PTAの連合会等で確認は行ったが、保護者の方からは概ね好評である。

(市長) 土曜授業はどうか。

東京等で試行しているところがあることは聞いている。将来的にずっと実施しないという意味ではないが、今回の夏期休業の短縮と比べるとハードルが高いと感じている。土日は一般的に休みの日とされているため、子どもたちを家庭や地域に帰し、そこで色々な体験をさせようという、国が週5日制にした理屈がある。その理屈に基づき、地域での活動も行われている実態があるため、それを覆す考えを整理する必要や教員の勤務の問題もある。

3 その他

・企画財政局長から、尼崎市市制 100 周年記念事業スケジュール(11・12月)について説明。

・企画財政局長から、尼崎市市制 100 周年記念事業 100 周年ステージ「知れば知るほど“あま

がすき”♥」について説明。

- ・ こども青少年本部事務局長から、市政課題研修「発達障害とトラウマがもたらすもの」について説明。
- ・ 都市整備局長から、東日本大震災被災地応援プログラム「気仙沼にチューリップを咲かそう」に係る「寄付」のご協力について説明。
- ・ 公営事業局長から、開設64周年記念 G 尼崎センブルカップについて説明。
- ・ 教育長から、音楽のまち尼崎コンサートについて説明。

以 上